

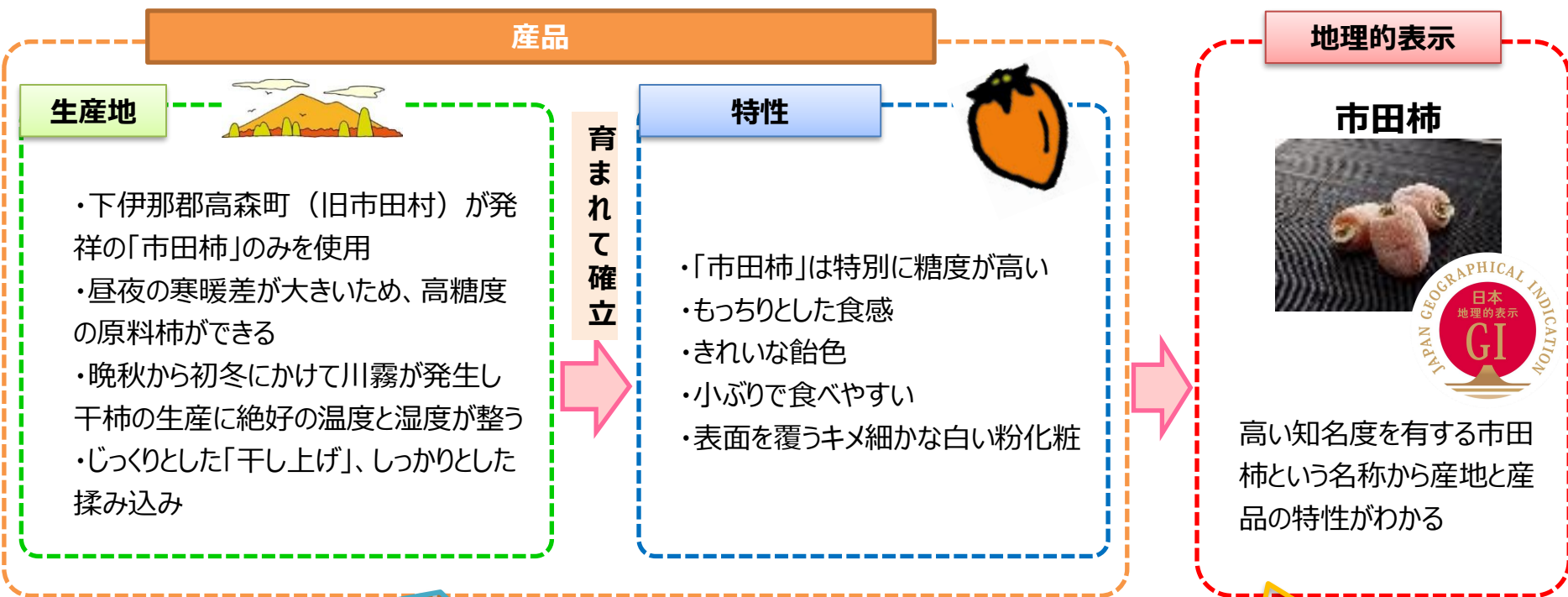
地理的表示保護制度の運用見直し



2022/11/1
農林水産省
輸出・国際局
知的財産課

地理的表示（GI : Geographical Indication）保護制度

- GI制度は、その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因・環境の中で長年育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する製品の名称を、地域の知的財産として保護するもの。外国との相互保護や模倣品対策の充実により、海外においても保護。
- ビジネスにおいては、地域と結びついた製品の品質、製法、評判、ものがたりといった潜在的な魅力や強みを見える化し、国による登録やGIマークと相まって、効果的・効率的なアピール、取引における説明や証明、需要者の信頼の獲得を容易にするツール。



- 地理的表示は、生産者団体が製品について登録を受け、構成員が使用。登録内容は明細書に記載。
- 登録を受けた生産者団体は、構成員が行う「生産」が、明細書に適合して行われるよう、必要な指導等を実施（生産行程管理業務）。

- 登録された地理的表示が不正使用された場合には、行政が取締り。

これまでのGI制度の成果

- これまでに122製品がGI登録。
- **GI登録・GIブランドの価値を高めるため**、これまで他製品よりも**優位な品質、厳しい生産行程管理**を重視する運用。模倣品排除を通じた**製品のブランド強化、ビジネスの拡大、所得や地域の活力の向上**に貢献。

みやぎサーモン（宮城県）



「養殖ギンザケ」発祥の地、宮城県で養殖された高品質・高鮮度なギンザケ。

GI登録を契機として、**JR東日本フーズと駅弁（押し寿司）を共同開発**。仙台駅と東京駅で販売中。

GI登録により商談も円滑化し、2018年にはシンガポール、2019年には北米への**輸出を開始**。

鳥取砂丘らっきょう（鳥取県鳥取市福部町）



らっきょうの栽培に適した鳥取砂丘の砂丘畑で生産。食感のシャキシャキ感が評価。

登録前は販売単価の乱高下があったが、登録以降、**取引価格が向上・安定し**、2021年には**過去最高単価を更に更新**（10kgあたり7004円(2017年産)→9000円(2021年産)）。

吉川ナス（福井県鯖江市）



千年の歴史を持つ伝統野菜。多収品種の普及により絶滅寸前だったものが復活。

登録を機にメディア露出が増え、**百貨店や都内ミシュラン店等との取引**が開始。

また、道の駅では、“吉川ナスバーガー”が販売され、これを目当ての**観光客も訪れるなど、道の駅のキラーコンテンツ**に。

R3年度には、**地産地消等優良事例表彰にて農林水産大臣賞を受賞**。

神戸ビーフ（兵庫県）



兵庫県で長い歳月をかけ改良が重ねられた但馬牛を素牛とし、A・B4等級以上でBMSNo6以上に格付けされた最高級の霜ふり肉。海外でも高い評価。

スペインのレストランにおいて、南米産牛肉のメニューに、「**TROPICAL KOBE BEEF**」と表示している例や、ドイツのスーパーにおいて、NZ産和牛に「**Wagyu “Kobe-Style”**」と表示している事例等を確認。

欧州との相互保護の枠組の下、我が国から**EU当局等**に適切な措置を執るよう、**要請し、当局からの指導の上、削除**。



Tropical Kobe Baby Beef

69,00

GI制度の現状

○ 反面、こうした運用が徐々に厳格化していった結果、GI産品は他産品との品質差を証明し易く、地域でまとまり易い小規模・地場の伝統野菜等に偏り、知名度の高いもの、加工品、輸出志向の産品は僅か。市場において目にする機会も限定的であり、GIの認知・価値向上に課題。

※「CraftMAP」を使用

120産品
(令和4年10月21日時点)

九州

- 【福岡】
5.八女伝統本玉露
117.はかた地どり
- 【佐賀】
121.女山大根
- 【長崎】
61.対州そば
- 【熊本】
8.くまもと県産い草
9.くまもと県産い草畳表
67.くまもとあか牛
74.菊池水田ごぼう
88.田浦銀太刀
94.八代特産晩白柚
95.八代生姜
111.くまもと塩トマト
- 【大分】
22.くにさき七島蔦表
33.大分かぼす
- 【宮崎】
55.宮崎牛
64.ヤマダイかんしょ
- 【鹿児島】
7.鹿児島産の壺造り黒酢
46.桜島小みかん
57.辺塚だいたい
58.鹿児島黒牛
102.えらぶゆり
115.種子島安納いも

中国・四国

- 【鳥取】
11.鳥取砂丘らっきょう
70.大山ブロッコリー
- 72.こおげ花御所柿
80.大栄西瓜
- 【島根】
87.東出雲のまる畑ほし柿
91.三瓶そば
- 【岡山】
24.連島ごぼう
- 【広島】
83.比婆牛
84.豊島タチウオ
89.大野あさり
97.福山のくわい
- 【山口】
19.下関ふく 40.美東ごぼう
100.徳地やまのいも
- 【徳島】
42.木頭ゆず
- 【香川】
54.香川小原紅早生みかん
82.善通寺産四角スイカ
- 【愛媛】
10.伊予生糸
- 【高知】
96.物部ゆず

沖縄

- 【沖縄】
44.琉球もろみ酢

外国

- 【イタリア】
41.プロシュット ディ パルマ
- 【ベトナム】
107.ルックガンライチ
110.ピントウアンドラゴンフルーツ

近畿

- 【滋賀】
56.近江牛
85.伊吹そば
- 37.万願寺甘とう
- 【京都】
2.但馬牛
3.神戸ビーフ
78.佐用もち大豆
- 【奈良】
12.三輪素麺
- 【和歌山】
39.紀州金山寺味噌
108.わかやま布引だいこん

【岐阜】

- 48.奥飛騨山之村寒干し大根 50.堂上蜂屋柿
- 【愛知】
49.八丁味噌 116.豊橋なんぶとうがん
- 【三重】
25.特産松阪牛

北陸

- 【新潟】
29.くろさき茶豆
81.津南の雪下になじん
109.大口れんこん
- 【富山】
53.入善ジャンボ西瓜
98.富山干柿
112.水見稻積梅
- 【石川】
17.加賀丸いも
20.能登志賀ころ柿
- 【福井】
14.吉川ナス
16.山内かぶら
43.上庄さといも
45.若狭小浜小鯛ささ漬
69.越前がに

東海

- 【茨城】
6.江戸崎かぼちゃ 38.飯沼栗 59.水戸の柔甘ねぎ
71.奥久慈しゃも
- 【栃木】
35.新里ねぎ
- 【東京】
77.東京しゃも
- 【山梨】
119.あけぼの大豆
- 【長野】
13.市田柿 34.すんき
- 【静岡】
18.三島馬鈴薯 36.田子の浦しらす
103.西浦みかん寿太郎

北海道

- 【北海道】
4.夕張メロン
21.十勝川西長いも
86.今金男しゃく
92.檜山海参
101.網走湖産しじみ貝
120.とことろピンクにんにく

東北

- 【青森】
1.あおもりカシス 23.十三湖産大和しじみ
52.小川原湖産大和しじみ
75.つるたスチューベン
90.大鰐温泉もやし 105.清水森ナンバ
- 【岩手】
28.前沢牛 47.岩手野田村荒海ホタテ
66.岩手木炭 68.二子さといも 73.浄法寺漆
106.甲子柿 114.広田湾産イシカゲ貝
- 【宮城】
31.みやぎサーモン 65.岩出山凍り豆腐
104.河北せり
- 【秋田】
32.大館とんぶり 51.ひばり野オクラ
60.松館しほり大根 79.いぶりがっこ
93.大竹いちじく
- 【山形】
26.米沢牛 30.東根さくらんぼ
62.山形セルリー 76.小笹うるい
99.山形ラ・フランス
- 【福島】
63.南郷トマト 113.阿久津曲がりねぎ
118.川俣シャモ

関東

- 【茨城】
6.江戸崎かぼちゃ 38.飯沼栗 59.水戸の柔甘ねぎ
71.奥久慈しゃも
- 【栃木】
35.新里ねぎ
- 【東京】
77.東京しゃも
- 【山梨】
119.あけぼの大豆
- 【長野】
13.市田柿 34.すんき
- 【静岡】
18.三島馬鈴薯 36.田子の浦しらす
103.西浦みかん寿太郎

(参考) 欧州における多様なGI産品

○ 欧州のGI制度では、他産品との優劣ではなく、地域と結び付いたその**産品独自の魅力や強みを評価**。加工品が過半を占め、輸出も多い（販売額の約20%は輸出向け）。GI産品の価格は、非GI産品の約2倍。

欧州には、品質と生産地との結び付きが強い原産地呼称（PDO）と比較的緩やかな地理的表示（PGI）が存在。

PDO (674,うち加工品は約400)

【要件】

- 品質又は特性が、**自然的、人的要因を備えた特定の地理的環境に基本的又は排他的に起因**。
 - 生産、加工及び調整（**生産行程の全て**）がその地域で行われる。
- ⇒ **事実上、品質特性は必須**。品質と地域における特定の要因との**強い結び付き（因果関係等）**が必要。

PGI (904,うち加工品は約400) ※日本のGIが相当

【要件】

- 品質、評判その他の特性が、**その地理的原産地に基本的に帰し得る**。
 - 生産、加工及び調整（**生産行程のいずれか**）がその地域で行われる。
- ⇒ **品質特性は必須ではない**。特性と地域との**結び付き**があれば足る。

ロックフォール（フランス オード等）



羊の全乳から作られる青カビチーズ

ロックフォールにある天然の洞窟には、固有の青かびが存在。産地内で放牧された特定品種の羊乳と青かび菌によりもたらされる滑らかさや独特の芳香がある。

コーニッシュ パスティ（イギリス コーンウォール）



牛肉と野菜と香辛料が詰まった半円形のミートパイ

産業革命期に地元炭鉱労働者の栄養豊富な主食として発展。作業中でも安全に食せるよう半円形となったもの。地元ジャガイモ等を用いる当時のレシピにより製造。

ポム ド テラ ド イル ド レ（フランス レ島）



完熟する前に収穫される、初物のじゃがいも

レ島はサンゴ礁等に由来し、水はけがよく、カリやリン酸を豊富に含む土壌。日照率が高く、降雨の少ない海洋性気候。土壌品質を変質させないため栽培慣行も実施。これらによりもたらされる独特の香りや甘みがある。

ハヴァティ（デンマーク全域）



セミハードのクリーミーなチーズ

酪農の長い歴史を有する同国において、酪農の学術的トレーニングにより養成された技術者のいる酪農場で生産。王室御用達で、多くの消費者が同国との結び付きを認識。

今後のGIの展開方向

- GI制度について、農林水産物・食品の輸出拡大や所得・地域の活力の向上に更に貢献できるよう、多様な製品のGI登録と波及効果の高いGIプロモーションを展開。
- GIマークという統一ロゴの下、GI製品の名称・ブランドを保護しつつ、成功事例の横展開、市場展開を通じ、GIそのものの認知を高め、全体として「GIブランド」を確立。



「成功事例」を
ひろげる

輸出を含め、優良事例の
創出・横展開

市場におけるGIの露出の拡大

波及効果の高い
プロモーション

製品のフィールドを
ひろげる

多様な製品の
登録

登録のフィールドを
ひろげる

真に価値あるGIブランドへ

—地域産品・日本産品のマーケット拡大、所得・地域の活力の向上—

地理的表示保護制度の運用の見直し（概要）

○ **11月1日より、GI制度の運用を見直し、輸出拡大や所得・地域の活力の向上を更に後押し。**

- （1）地域で守られるべき伝統野菜から、加工品、海外志向の産品まで、多様な産品の登録につながるよう間口を広げるとともに、登録申請前及び登録後における地域の負担を軽減する。
- （2）GIを市場において目にする機会を増やすプロモーションを強化し、GIの認知・価値を高めていく。

1 審査基準の見直し

地域と結び付いたその産品独自の多彩な特性を実質的に評価する審査へ

- 差別化された品質がなくとも、地域における自然的・人文的・社会的な要因・環境の中で育まれてきた品質、製法、評判、ものがたり等のその産品独自の多彩な特性を評価する審査を推進。
- 知名度なども考慮し、生産実績が25年に満たなくとも、登録の可否を弾力的に判断。

2 登録前後における手続の見直し

申請に向けて必要となる名称統一の柔軟化、登録後の生産行程管理の合理化・効率化により、地域の負担を軽減

- GI産品と信頼して購入した需要者の利益を毀損しない、GI真正品について、名称の統一が申請への合意形成の支障とならないよう、登録名称を分断する名称の継続使用を可能に。（「霞ヶ関りんご」が登録された場合の「霞ヶ関○○りんご」）
- 生産者の遵守事項の簡素化を推進。生産行程管理業務も、年1回の実績報告書を廃止し、最終製品ではなく、生産の手順・体制をチェックする方法へ。

3 GIの市場における露出の拡大

GIマークの活用とGI産品と他業種とのコラボを推進し、市場において目にする機会を増やし、その認知・価値を向上

- GIマークを、GI産品の加工品に使用する場合のルールを明確化
- GIマークも効果的に活用し、外食、食品、観光などの他業種とのコラボ商品・コラボサービスの開発・提供を推進

G I 産品と関係業界とのコラボの推進

- G I マークという統一ロゴの下、流通・eコマース、観光、食品・外食との連携強化等を通じ、G I 産品やコラボ商品・コラボサービスの市場の拡大を志向。市場においてG I を目にする機会の増大を図る。
- G I 産品とのコラボは、関係業界・関係企業にとっても、商品開発、SDGsへの貢献などの面にメリット。

■ これまでのGI産品と関係業界・企業とのコラボ事例

■ 今金男しゃく × 湖池屋

今金男しゃくを使用したポテトチップスを、オンライン限定商品と「湖池屋プライドポテト」シリーズにおいて、季節限定販売。



■ 宮城サーモン × JR東日本

JR東日本フーズとの共同開発により、押し寿司弁当を東京駅と仙台駅にて数量限定販売。売行きが好調であったことから、現在まで継続して販売中。



■ 江戸崎かぼちゃ × セブンイレブン

「江戸崎かぼちゃのポターージュ」を2018年から茨城県内全域で期間限定販売。2021年には、北関東地域まで販売が拡大。



■ 大口れんこん × 加島屋

地域の特産野菜を使用した「大口れんこんピクルス」を地元の醸造会社が製造。新潟の老舗食品企業・加島屋本店において季節商品として限定販売。



■ 辺塚だいたい × キリンビール

地域の特産果実でつくる、キリンビール株式会社の「いいね！ニッポンの果実。氷結®」シリーズにおいて、期間限定販売（完売）。鹿児島県内一の繁華街のご当地ハイボール「天文館ハイボール」の原料にも使用されている。



■ 吉川ナス × 百貨店・ミシュランレストラン

G I 登録をセールスポイントに、伝統野菜に関心があった伊勢丹（新宿店）、京急百貨店と取引を開始。都内ミシュランレストラン等とも取引。



■ 全国のG I 産品 × 豊洲市場ドットコム

豊洲市場に集まる産品を一般消費者に紹介・販売するECサイト「豊洲市場ドットコム」（会員数32万人、年間1億PV）において、2022年1月から全国のG I 産品の取扱いを開始。



GI 製品の輸出の促進

- GI製品の名称は、**外国との相互保護**や**模倣品対策**を通じ、**海外においても保護**。
- 海外市場においても、GI製品としての名称・ブランドを守りつつ、**GIマークの下、真正な日本産品「ジャパン・ブランド」としてアピール**。

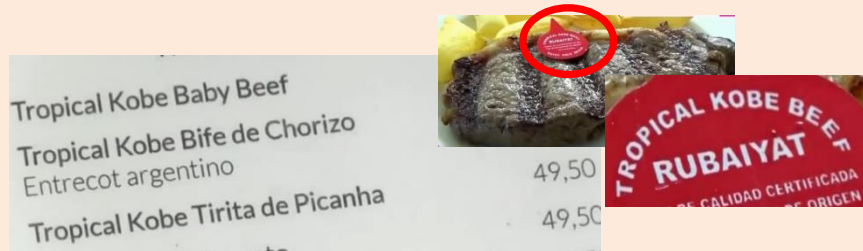
1 外国政府によるGI 保護

「相互保護」の枠組により、日本で登録されたGIが外国政府でも保護。

これにより、GIの登録名称の偽物への使用が外国で発見された場合には、**外国当局が取締り、これを排除**。

【海外でのGIの悪用】

- ・ スペインのレストランにおいて、南米産牛肉のメニューに「TROPICAL KOBE BEEF」と表示



- ・ ドイツのスーパーにおいて、NZ産和牛に、「Wagyu “Kobe-Style”」と表示

➡ 我が国からの要請に応じ、EU当局が事業者に対し名称の削除を指導

2 冒認商標への対抗

農水省の調査により判明した第三者によるGI製品の名称を用いた商標の出願に対し、GI権利保持者が異議申立。

【各国における事例】

- ベトナム：「市田柿」（ローマ字）
- 中国：「すんき」（ローマ字）
- スペイン：神戸ビーフ（図形）



➡ 当局が当該商標の登録を拒絶

3 ショッピングサイトにおける不正出品物の削除

世界の主要な166のショッピングサイトにおいてGI名称の不正使用が疑われる製品について、農水省が各サイトの運営会社に削除・修正を要請。

➡ 1300件以上の不正使用のうち、1000件以上の削除が完了。